



山陽子どもアイランドだより 第166号 (R7、12月・R8、1月)



2026年(令和8年) 赤磐市立中央公民館

〒709-0816 赤磐市下市 337 086-955-0069 chuo-komin@city.akaiwa.lg.jp



真剣に取り組んでいます



中学生が教えてくれたよ



刀を使って風船遊び



お花を作るよ



いいのができた～！



お餅美味しい～(*^-^*)



干支の「馬」を描いたよ



ひごを付けるよ



尾をつけるよ



糸を通して…

～ R7,12月26日(金) 冬休み子ども寺子屋 ～

今回も、「2丁目の集会所」をお借りして、冬休み子ども寺子屋を行いました。冬休み前からインフルエンザが流行り、次々と欠席連絡があり、参加者が9名と半分以下に…冬休みの宿題を持って集まった子どもたちは、低・中・高学年に分かれて、勉強スタート！参加してくれたOB中学生ボランティアにわからない所を教えてもらったり、友達同士で教え合ったりしながら勉強に取り組んでいました。勉強の後は、講師をお招きし、皆で「バルーンアート」に挑戦しました。最初は、風船が割れることを恐れていた子どもたちでしたが、「刀」が出来上がり、簡単には割れないことや刀を使って風船遊びが出来ることがわかると、次の作品を作る時には、講師の説明に耳を傾け、すぐに次の作業に入り、「花」を作り始めました。2つの作品を作った後、昼食に、ボランティアさんが「お餅」を用意してくださり、皆でいただきました。講師が帰る前には講師の側に行き、「バルーン楽しかったです。ありがとうございました。」と講師にお礼を言っていた子がいたようで、講師から嬉しい気持ちになったとの報告も受けました。

～R8, 1月10日(土) 大空に連凧を揚げよう～

年末の寺子屋の活動時は、インフルエンザの猛威に襲われた子どもたち。この日は元気に活動に参加してくれました。この日は「連凧」作り。紙が配られると子どもたちは干支の「馬」や好きなキャラクターなど、思い思いの絵を描き上げていきました。絵を描き終わると、竹ひごを付けていきます。ひごを付けるのが難しい所は、友だちと協力したり、中学生ボランティアに手伝ってもらいながら、取り付けていきました。縦・横のひごを取り付け、「尾」を付けると完成です。完成した凧に「糸」を付けると、凧を繋いでいきます。今年は、子どもたちとボランティアの作品40枚の凧が揃いました。凧を揚げに、西小のグラウンドに向かいます。天気は良く、日差しが暖かい風のない日でした。毎年、穏やかな天候に恵まれていて、今年も、子どもたちの足で凧を揚げます。



完成したよ～(*^^)v



1・2・3～！！！！



大空に、連凧が空高く舞い上がりました！

凧を持って一列に並ぶと、「1・2・3～！」掛け声と共に高く揚がった凧を見て、周りの子も一斉に走り出しました。「走れ～」「頑張れ～」掛け声を掛け合い、子どもたちは交代しながら、グラウンドを走り周り、凧揚げを楽しみました。大空に舞い上がった連凧は見事で、迫力もあり、新春らしい清々しい活動になりました。
※この活動は1/16(金)の山陽新聞に掲載されました。



✧青空に連凧が映えます✧



説明を聞いてスタート！



作製中



面白いの作るぞ～！



サイコロも国旗のデザイン



みんなですごろく



ボランティアさんと一緒に

～ 1月24日(土) すごろくを作って遊ぼう～

この日は、「すごろく」を作りました。「事前に作りたい物を考えてきてね。」と伝えていたので、資料を持ってきていたり、テーマを考えていたり準備をして来てくれていました。好きなキャラクターや好きな食べ物など子どもたちは思い思いのテーマで作りました。「1万円をじいじにもらう。」そんな言葉が書かれたマスや、「3」が出ないとスタートすら出来ないという、なかなかシビアなものもあつたりと、面白いオリジナルの「すごろく」が次々と出来上がっていきました。2年生は、学校で習った九九を取り入れたすごろくを作っている子もいました。出来上がった「すごろく」は、友達やボランティアさんを誘って一緒に遊びました。いざ遊んでみると…なんとサイコロに「スタートに戻る」と書かれているもの、サイコロの目が「27」あるものも出てきて、先に進めたと思っても、また元に戻って…となかなかゴールにたどりつけず…アイデアが沢山詰まったすごろくで、皆で楽しむことが出来ました。